

授業概要

小学校学習指導要領をもとに国語科の意義や特質、目標、内容を理解させ、言語活動の充実化を図る国語科授業の創造をめざすことを目的とする。児童の実態把握の仕方、言語活動の工夫と評価、教材研究の仕方、学習指導案の作成、模擬授業(4回)の展開、板書の仕方などが授業内容であり、講義と演習、ディスカッションを中心に展開をする。国語科は言語で認識し、言語で考え、言語で創造し、言語で伝達するという言語の機能を習得させることが重要な教科である。本講義では、言語による伝え合う力の育成を具現化する授業の在り方について、教育現場の実践的研究を踏まえて追求するよう指導する。

授業計画

第 1 回	国語科の意義や特質、国語科の目標（学習指導要領を参考にする。）
第 2 回	国語科の内容、学年ごとの系統性（学習指導要領を参考にする。）
第 3 回	国語科で求められている力、国語科授業の在り方
第 4 回	児童実態の把握の仕方
第 5 回	身につけたい力に応じた言語活動の工夫
第 6 回	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の評価
第 7 回	教育現場での実践的資料による様々な言語活動
第 8 回	国語科におけるコミュニケーション能力、伝え合う力の育成
第 9 回	『ごんぎつね』①～教科書教材『ごんぎつね』で教材研究
第 10 回	『ごんぎつね』②～国語科学習指導案の作成
第 11 回	『ごんぎつね』③～「登場人物の気持ちを考える」をテーマにした模擬授業の実施
第 12 回	『ごんぎつね』④～模擬授業において、工夫されている点や改善点についての討議
第 13 回	『スイミー』①～教科書教材『スイミー』で教材研究
第 14 回	『スイミー』②～国語科学習指導案の作成
第 15 回	『スイミー』③～「仲間に対する思いやりの気持ち」をテーマにした模擬授業の実施
第 16 回	『スイミー』④～模擬授業における、工夫されている点や改善点についての討議

到達目標

- ・小学校国語科の目標と内容、学年ごとの系統性について理解し、言語活動を重視した国語科の指導法について捉えることができる。
- ・教材研究の仕方が分かり、伝え合う力の育成をめざした「国語科学習指導案」を作成することができる。
- ・討議やディスカッション等において、自分の考えや感想、意見をもち述べることができる。

履修上の注意

欠席をする場合は、その理由を指導者に連絡をする。

予習・復習

発表前に指導案の原案を作成する。

評価方法

学期末試験 70%、授業内レポートおよび宿題 20%、受講態度 10%

テキスト

- ・教科書名：「小学校学習指導要領解説 国語編」
- ・著者名：文部科学省
- ・出版社名：東洋館出版社
- ・出版年 (ISBN)：4491034621